



Kusatsu International
Friendship Association

http://www.kifa-japan.org

No. 127
2019.9.30



KIFA スクウェア

[編集] 草津市国際交流協会

草津市国際交流協会では中学生の職場体験 を受入れました



中学生職場体験学習(チャレンジウィーク)の受け入れ事業所としてKIFAは4名の生徒を受け入れました。7月1日(月)から7月5日(金)までの1週間という短い期間ではありましたが、生徒たちは笑顔で積極的に活動してくれました。そんな彼らの職場体験の感想文です。



中学生の職場体験の場所がKIFAだと決まったときには、聞いたことのない名前だったので、どこだろうと思いましたが、体験してみて面白かったのですごく良かったです。

VR体験では、貴重な体験ができてよかったです。

UDCBKではやさしい日本語を学び、外国の方と交流などもできて楽しかったです。自分の周りには外国人がいないので、外国人の現状を知ることができてよかったです。市役所では案内をしてもらって、多くの課があってたくさんの仕事をしていることが分かりました。手紙で招待状を書くことでは、外国への手紙の書き方が勉強できてよかったです。もし、外国人の友達ができたら手紙を送ってみようかなと思います。外国人とかか

わりを持つことが面白いことだとわかったので、将来もっと外国人と関わってみたいと思いました。

(玉川中学校2年 I君)

僕たちを「KIFA」の職員として働かせていただきありがとうございます。担当の方のやさしさが時間が経つにつれて伝わってきました。最初、「KIFA」ってどんなところなんだろうと思っていたけど、当日になると様々なことを細かく教えてくださり、とても楽しかったです。この先体験できないようなことがたくさんあり、いい経験ができてよかったです。この職場体験を生かし、これからの進路の選択肢として頭に入れておきます。本当にありがとうございました。

(玉川中学校2年 M君)

5日間
ありがとう
ございました。

今回の職場体験学習でいろいろなことを学びました。例えば、「やさしい日本語」や「カロムの遊び方」そして「外国人への接し方」などを学びました。「やさしい日本語」では、日常的に使っている言葉をどのようにだれにでもわかりやすい言葉にするのが難しかったです。「カロム」は初めて知った遊びでした。そのゲームはとても楽しかったです。そして「外国人への接し方」はいつもの日本語を話しているだけでは伝わらないけれど、いろいろな工夫をすると伝わるのが分かりました。これからはKIFAで学んだことを生かして、外国人と出会ったらコミュニケーションをとっていきたいです。

(玉川中学校2年 S君)

KIFAのみなさまへ

先日はお忙しい中、職場体験学習のためにご協力ありがとうございました。私は今回の職場体験で外国の人たちと一緒に楽しく交流するといった貴重な体験ができて感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の職場体験で学んだ「やさしい日本語」を、日本語があまりわからない外国人のためにもっと勉強したいと思います。この1週間ありがとうございました。

(玉川中学校2年 W君)



橋川草津市長との懇談会



今年度は会長、副会長に加えて部会長も参加して、橋川市長と有意義な話をさせていただきました。

2019年5月24日(水)に橋川草津市長と草津市国際交流協会(KIFA)関係者の懇談会を行いました。草津市側は橋川市長とまちづくり協働部の中村副部長が出席され、KIFA側は南会長、青地副会長、中西副会長、藤田部会長、鶴田部会長、浦事務局長が出席しました。

議題として、①平成30年度の事業報告②昨年度よりプロジェクトとして活動してきた「身近な法律ハンドブック」の「やさしい日本語版」と「英語版」の発行に関して③2019年の計画の3点を取り上げて話し合いました。

以下、各項目で述べられた市長のコメントに関して記載します。

- ①平成30年度のKIFA事業の実績に関しては、『各部会共に決められた予定通りに活動され所定の成果が得られたことに感謝する。特に秋の草津市友好使節団のポンティアック市への派遣事業に感謝する。』
- ②「身近な法律ハンドブック」の「やさしい日本語版」「英語版」の発行に関しては、『県下でも初めての取組であり、草津市と草津市国際交流協会が多文化共生社会実現に向けて前向きに活動していることを広く広報して行って欲しい。またそれに関連するが多文化共生プランに関しても、まちづくり協働課の主管事業であるので協力して前向きに進めて行って欲しい』
- ③2019年度事業に関する計画については、『国際交流・国内交流に関しては、今後も周年事業等中心の活動を続けて欲しい。国際理解部会に関してはSDGsの取組活動への協力をお願いする。多文化共生部会は中学生の職場体験の受入れ等、新しい取組を

進めてくれているので、多文化共生プラン作成の協力と合わせて今年度も宜しく願います。広報に関しては、ホームページの多言語化を計画していることは重要と感じるので前向きに進めて欲しい。又、従来より協力頂いている、機能別消防団の育成に関してもKIFAの協力を得て進められているので、今後もさらに危機管理課、消防団と協力して前向きに取組んで行って欲しい。』というコメントを頂きました。



行政と協働で活動を進めている観点より、今後も年に1度の懇談会を継続して行きます。

(KIFA事務局長 浦 幹夫)

「身近な法律ハンドブック」の「やさしい日本語版」「英語版」の発行事業



この度KIFAでは、「身近な法律ハンドブック」の英語版とやさしい日本語版を各2000部発行しました。滋賀県下各市町国際交流協会、各大学の留学生窓口等に無料で贈呈する予定です。また、全国青年司法書士協議会(以下、全青司)、草津市国際交流協会のホームページにも掲載します。

「身近な法律ハンドブック」は全青司が主に児童養護施設の子どもたちのために2009年に発刊したもので、彼らが社会に出たときに遭遇するであろう様々な法律について分かりやすく説明されています。

英語版とやさしい日本語版発行にあたっては、全青司、KIFAボランティア、留学生、日本在住外国人が実行委員となり、「チームやさしい日本語」等の専門家の協力も得て実現することができました。

この事業をスタートするきっかけは、ダイバーシティ草津応援隊で活動していた服部孝政さんという一人の学生でした。服部さんから日本語能力や文化的背景の違いのために日常生活において困っている外国人がたくさんいるという話を聞いたKIFA会員(渉外司法書士)の木曾さんが、なんとか彼と地域の外国人の力になりたいと考え、「身近な法律ハンドブック」のやさしい日本語版と英語版の作成を発案されたのでした。木曾さんと服部さんのコメントを掲載します。

今般の入国管理法の改正により、新たな在留資格、「特定技能」が追加された。

同時に、入国管理局は出入国管理庁に改められた。

他方、日本の人口の激減と超高齢化は既に進行している。経済と社会インフラは、維持することすら困難となると予想される。

上記法改正は、「崩壊の瀬戸際」といっても決して控えめとではない社会状況への、対症療法的善後策の一環と言える。

新制度下で、低所得で実質的には非熟練の労働者が多く来日すると予想される。問題は政策の適否ではない。我々の社会に、彼らを受け入れる覚悟はあるか、体力は残されているかである。人々を国外から招くのなら、彼らを社会に統合していくのは我々の義務であり、その履行は待たなしで求められる。

身近な法律ハンドブックは、来日する彼らに日本の法制度を自らの権利と義務を知らせるためにある。同時に、受け入れる人々に、その必要性を啓蒙するためにある。

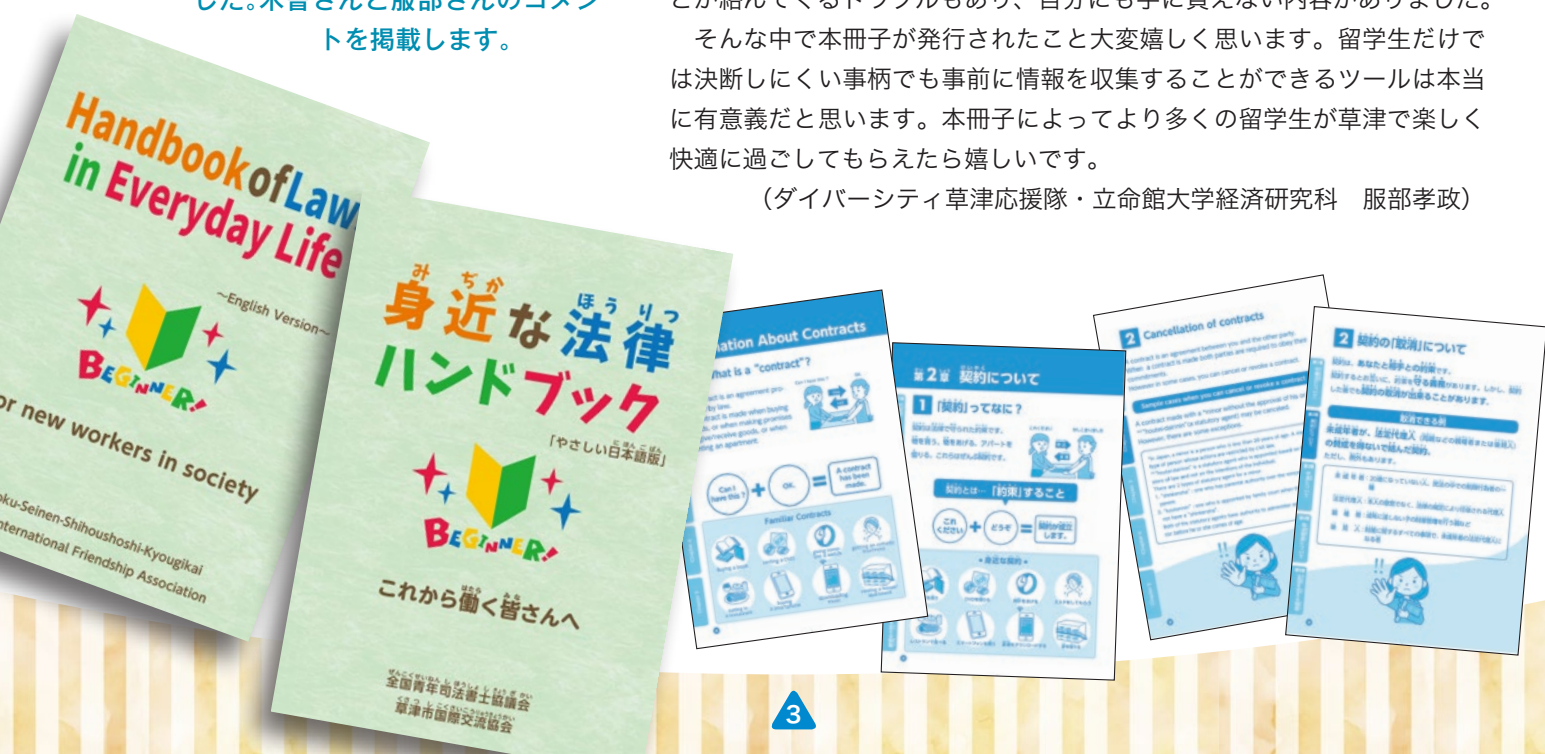
経済的に不安定な状況に置かれ意思疎通も困難を伴う人は、適切な法的サービスにアクセスすることが極めて困難である。同時に、我々法律専門家の無償でのサポートの提供には、遠からず限界が見えてくる。自治体を中心とする関係団体が支援の第一線に立つことが必須である。外国人住民が相談すべき場所を知ること。日本の人々が彼らにいかなる支援をすべきかを考えること。ハンドブックがこの待った無しの問題を考える一助となることを、切に願う。

(KIFA会員 渉外司法書士 木曾雄高)

大学には留学生がたくさんいます。私が所属する研究室では日常生活で困っていることを毎日のように相談されていました。食事、住居、宗教、観光、買い物に関することなど様々です。相談の中には、法律や契約書などが絡んでくるトラブルもあり、自分にも手に負えない内容がありました。

そんな中で本冊子が発行されたこと大変嬉しく思います。留学生だけでは決断しにくい事柄でも事前に情報を収集することができるツールは本当に有意義だと思います。本冊子によってより多くの留学生が草津で楽しく快適に過ごしてもらえたら嬉しいです。

(ダイバーシティ草津応援隊・立命館大学経済研究科 服部孝政)



留学生と一緒に行くバスツアー

夏編



7月7日(日)梅雨の合間の良い天気の日、2年ぶりの留学生とのバスツアーを実施しました。今回は南比良で「エコツアー～命の水を訪ねて～」というテーマで南比良の自然を満喫しました。



バスツアーの感想



Today's bus tour was the best tour for me during this two years. Because I understood the history and background of man made natural Dam, Kogeccho, shishigaki and life near the lake. I can imagine how the Japanese people have worked hard. And the guide, local people and KIFA staff were also very kind, friendly and active in explaining. Lunch was amazing, it was so so delicious. I really appreciate all for giving free lunch for my kid. And we experienced watermelon splitting, swimming and fishing at the Lake Biwa. Thanks for everything. We are very satisfied with this tour.

(立命館大学 経済学研究科 ミャンマー出身 Piao Yun Phyo)

KIFAのバスツアーで初めて滋賀県西部にある南比良という集落に行きました。KIFAのバスツアーに参加すること自体も初めてだったので、バスに乗るまでは少し不安でしたが、スタッフの方々のお気づかいで声をかけてくださり、楽しい時間を過ごすことができました。

南比良では、山の中にある大きな石で作られた堤から出発し、地元のガイドの方々と小さい水路に沿って歩きながら、昔から続いている人々の暮らしと水との関係を学びました。その後、滋賀県産の食材を使ったお弁当をいただいたり、素敵な絵屏風を通して集落の昔の暮らしについて説明していただいたり、琵琶湖の湖岸で色々なアクティビティを体験したりしました。(私は見学専門でしたが。)

1日で昔ながらの暮らしについて知ることができ、地元の方々とも触れ合い、他のツアー参加者とも交流ができ、普段なかなかする機会のないことばかりが経験でき、とても楽しく、ツアーに参加して本当に良かったと思いました。次回のバスツアーもまた是非参加させていただきたいと思います！

(KIFA 会員 タイ出身 エムシャムラット オラパン)



国際理解講座 ブラジルDAY



日本から一番遠いが、関係は非常に深いブラジルについて学びました。

8月25日(日)10時～15時に草津市立まちづくりセンターでKIFAの「ブラジルDAY」が開催されたので参加しました。

午前中は、センター2Fの調理室でブラジル家庭料理を作りました。参加者30名は、5名ずつのグループに分かれ、ブラジル出身の先生方の指導のもと、調理実習を行いました。レシピは「フェイジョン カリオカ(豆スープ)」、「ガーリックライス」、「オニオンステーキ」、「ヴィネグレット(野菜サラダ)」、「バナナフライ」、「ケール炒め」、「パッションフルーツジュース」の7品で、一人前を盛り合わせて写真のように出来上がりました。豆スープやバナナフライが珍しく、おいしいうえ十分な量でした。

午後からは、京都のスポーツジムのインストラクターと生徒さんが来て、ブラジルの伝統スポーツ「カポエイラ」の実演と指導をしてくださいました。「カポエイラ」は、ポルトガルの植民地だったブラジルに連れてこられた黒人奴隷が、故

郷を偲び農園主に反抗するために編み出した歌やダンスを伴う格闘技です。この格闘技は、相手を倒すことが目的ではなく、動きを通じて相手とコミュニケーションをとることを目指します。指導を受けた私たちも、動きを通じて相手の生徒さんと共感するところがあったと感じました。

最後に、この催しを通じてブラジルの人々や文化に触れることができ、世界に対する視野がさらに広がったと感じました。この催しを企画してくださった草津市国際交流協会さんにお礼申し上げます。

(KIFA会員 寒川敏夫)



やさしい日本語特別セミナー 「雨の日の過ごし方」



雨の日に、みなさんはどのように過ごしていますか？今回のイベントを考えたのは、やさしい日本語サロンで出会う外国の人たちが、雨の日はお休みする人が多く、何をして過ごしているのかなあと思ったことがきっかけでした。日本には、折り紙やあやとりといった、家の中で出来る遊びがあります。草津に住む外国人に、日本のことを知ってもらうために、雨の日でも家の中で出来る日本の文化に触れてもらいたいと思いました。同時に、世界にはどんな過ごし方があるのかを知りたくなりました。そこで、やさしい日本語サロンに集まる人たちと雨をテーマに話したり一緒に活動したりしたいと思い、この会を企画しました。当日は7名の外国人の方、8人の日本人が集まりました。台湾の屋内でも出来る遊びとしてジェンズ（蹴って遊ぶバドミントンの羽のようなもの）を紹介してもらいみんなで作って遊んだり、日本文化の折り紙やふたりあやとりをしたり時間いっぱい楽しめました。これからも外国人も日本人も多くの方々と交流していきたいです。イベントをしたいという私達の後押しをしてくださったKIFAや、イベントに来てくださった方々、ご協力くださった方々に感謝しております。有り難うございました。



(KIFAボランティアスタッフ 北村 亜耶・安居 真菜美)

多言語カフェ 中国編



私はこの次の多言語カフェ・ミャンマー編の企画をさせて貰うことになっていたのですが、今回はその企画の参考の為に打ち合わせと当日の運営のお手伝いをさせて頂きました。

詳しく話を聞く前はKIFA側からある程度企画をして講師となる方に話をもっていくという感じかなと勝手に想像していましたが、実際はまず講師となる方が何をこの企画で伝えたいのか要望を聞いて、KIFAの方は「他にこういうものはどうですか？」と企画を付け足していく感じで驚きました。

企画当日には20人以上の沢山の方々に来てもらいましたが、皆さん中国の歴史や中国語を学んでみたいという方々が多かった印象です。

企画の前半では中国の伝統的な暖房器具「カン」の紹介や古代の王様のお墓に備えられている兵馬俑を通した中国の歴史についてお話をさせて頂きました。学校の教科書では知りえなかった事が沢山聞いて大変興味深いものでした。



後半では中国の小学校で使われている実際の教科書で中国語の発音を学びました。私自身以前から中国語を学びたいと思いつつも機会が無かったので今回が初めてのことでした。普段読み慣れている字と全く読み方が違い、発音を示すアルファベットの読み方自体も違うのでかなり苦労しましたが、とても新鮮なものでした。

私自身も半分参加者のように聞いていましたがリラックスしながら楽しめるものでしたので、ミャンマー編の方もこのように出来たらいいなと思います。

(インターンシップ生 立命館大学情報理工学部4年 余郷 真之介)

やさしい日本語サロン 特別セミナー

6月21日(金)にUDCBKで、やさしい日本語サロンの特別セミナー「若者たちの地域貢献の輪～ローターアクトから世界へ飛び立とう」を開催しました。草津ロータークラブのみなさんによるローターアクトクラブの活動紹介のあと、「10万円の活動資金があったら、どんな地域・国際貢献ができるのか」を参加者みんなで考えるワークショップをしました。



KIFA協賛イベント SDGsハラルフード プロジェクト

6月9日と16日の2日間、草津市市民交流プラザにて立命館大学の学生イベント「SDGsハラルフードコンテスト」が行われました。1日目は試食とレシピ考案のためのグループ分け、2日目に各チームともにムスリムの方といっしょに買い出しと調理を行いました。KIFAメンバーが参加したグループは魚介カレーで「おもてなし部門」の最優秀賞を受賞しました。

ハラルフードはムスリムだけでなく、だれにでもやさしい食だということが良く理解できました。



草津オリジナルうどんを作ろう

8月23日(金)に草津市立まちづくりセンターにおいて KIFA協賛で草津おみやげラボ主催の多文化共生×多世代交流のうどん打ちイベントが行われました。シニアの小野山麺食い会の指導の下、湖南農業高校有志、外国人、大学生、子育て世代が地域の食材を使った3色のトッピングをのせたうどんを作りました。

ベトナムに住んでいた時、私がうどんは有名な日本料理だとしていました。日本に来て2年半住んでいますが、初めてうどんを作ったんです。楽しかったです。もっともっと日本語勉強したり、日本の料理勉強したり、また日本の文化を学びたい。先生とみなさんはいろいろ教えてください。(ベトナム出身 Do Thi Lan)



案内

「エコキャンドル作り」を開催します

「クサツハロウィン2019」にて、エコキャンドル作りのブースを出展いたします(協力:循環型社会創造研究所えこら)。当日、会場にて先着順で受け付けます。



- 日時: 2019年10月27日(日) 11:00~15:00
- 場所: FM草津(草津夢本陣)前
- 参加費: 300円
- 申込: 当日会場にて(先着順)

募集

「SDGsカードゲームワークショップ」を開催します

国連で採択された17個の持続可能な開発目標(SDGs)を簡単に理解できます。そして、何故SDGsが必要なのか、そしてこれからの世界と繋がる自分の役割は何なのかなどを楽しく遊びながら考えていくワークショップです。講師は、公認ファシリテーターの藤田アニコーさんです。



- 日時: 2019年10月31日(木) 18:00~20:00
- 場所: 草津市立まちづくりセンター201会議室
- 参加費: 無料
- 申込: KIFA事務局まで窓口・電話・メールにて

案内

「三方よしフェア」でブースを出展します

ピアザ淡海での滋賀GPNの「三方よしフェア」にて、KIFAは「英語でクイズラリー」のコーナーを担当します。

- 日時: 2019年12月7日(土) 11:00~15:00
- 場所: ピアザ淡海

募集

「留学生と行くバスツアー 秋編」を開催します

留学生や近隣に在住の外国人と一緒に、体験学習型バスツアーです。沖島での自然の暮らし学習や、農業体験などを予定しています。くわしくは、後日ホームページやFacebookでお知らせします。

- 日時: 2019年11月17日(日) 9:00~17:00頃
- 集合: 市役所バス停付近・立命館大学バス停
- 参加費: 会員/学生2,000円 非会員3,000円
- 申込: KIFA事務局まで窓口・電話・メールにて



案内

「^{つむぐ}tumuguフェスinロクハ」でブースを出展します

ひとまちキラリまちづくり活動助成採択団体の「CH北山ヘアカット研修会*滋賀支部」さんがロクハ荘で「tumugu(つむぐ)フェス in ロクハ」を開催されます。「ふれあい・つながり・あんしん」をテーマに、「ワンポイントカットセミナー」や展示コーナー、そして模擬店など誰もが楽しめる催しです。KIFAでは、このイベントにブースを出展して、ベトナムコミュニティによるベトナムの食と文化の紹介、防災の啓発、機能別消防団員の活動紹介を行います。



※CH北山ヘアカット研修会: 介護や看護などの諸事情で理容室・美容室に行けない人のご家族に簡単なヘアカットの方法を教える活動をしている。

- 日時: 2019年12月1日(日) 9:30~15:00
- 場所: ロクハ公園